

# 高二 古文

## 第十三回 小テスト

出題範囲 古文文法 助動詞

注意事項

- ① 質問があれば高木まで。
- ② 終了したならば、  
提出して帰る。
- ③ 私語・カンニングは未受験。



STUDY COLLABO®

# 単語・文法小テスト

氏名

点数

1 次の傍線部を現代語訳せよ。

1 はや舟出ふなでしてこの浦を去りね。  
(源氏物語・明石)

2 いかにかしがましく恐ろしからむ。  
(枕草子・五九)

3 宮仕みやつかへ心に入れて交じらひ、人に許ゆるさる。  
(うつほ物語)

4 やがてかけこもらましかば、口惜くしからまし。  
(徒然草・三二)

5 あやしがりて、寄りて見るに、筒つつの中なか光りたり。  
(竹取物語)

6 ここにはしばしは住すまじ。  
(二条殿に住まむ。落窪物語)

7 人々あまた声こゑして来きなり。  
(宇治拾遺物語)

7	6	5	4	3	2	1
〔	〔	〔	〔	〔	〔	〔
〕	〕	〕	〕	〕	〕	〕

8 今いまは逃にぐともよも逃にさじ。  
(宇治拾遺物語)

9 たしかにその車くるまをぞ見みまし。  
(源氏物語・夕顔)

10 下しもとして上かみにさかふる事こと、あに人臣じんしんの礼れいたらんや。  
(平家物語・法印問答)

8 〽

9 〽

10 〽

〽

〽

〽

解答

1

〔てしまえ〕

2 〔だろう〕

3 〔られる〕

4 〔たならば〕

5 〔ている〕

6 〔まい〕

7 〔ようだ〕

8 〔ないだろう〕

9 〔ばよかったのに〕

10 〔である〕